動画タイトル：日本精神保健福祉士協会理事からの社会的復権に対するメッセージ－６月は「社会的復権を語ろう月間」です－

1枚目

「社会的復権を語ろう月間」に向けて、理事一人ひとりが精神障害者の社会的復権を成し遂げていくために、目指すものや考え、想いを語りました。

ぜひ、皆さんも各地で「社会的復権」について共に語り合い、声に出し、協会の目的である「精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動を進める」ことについて、考え、取り組んでいく一歩としましょう。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会

２～３枚目

2023年度の愛媛県で開催された第５８回全国大会第２２回学術集会では、関連企画として紙で作成した幹だけの「社会的復権の樹」に、参加者が葉っぱの形のメッセージカードに想いを書き込み樹に貼り付けて、「社会的復権の樹を一緒に育てる」イベントを行いました。

本動画では、皆さんからの想いが集まったメッセージ入りの葉っぱや葉が沢山茂った「社会的復権の樹」の写真を掲載しました。

４枚目以降、理事一人ひとりが、自身の想いを葉っぱに書き込んだカードとともに、メッセージを述べていく動画が流れます。

発言者 副会長　廣江　仁

障害があっても、なくても、そのままで生きていける、そういう社会を作っていきたいと思います。そのためにミクロ・メゾ・マクロで自分のできることをやっていきます。

発言者 副会長　洗　成子

人の希望（のぞみ）の喜びを！　病気があっても、障害があっても、ありのままの自分を好きでいられる、安心して暮らせる社会を作りたいです。そのためにまずは、自己決定の大切さを人々に、そして私自身に伝え続けます。

発言者 副会長　尾形　多佳士

社会的復権とは、自分らしい暮らしを取り戻すことだと思います。そのために目の前のクライエントの自分らしさの再発見に努めていきます。

発言者 常務理事　木太　直人

「社会的復権」は、わが協会が大切にしてきた独自の言葉です。精神障害のある人が地域で生活する権利を行使できない社会は、もういい加減やめにしましょう！

発言者 理事　磯﨑　朱里

希望を持てること、感じることができることが、人が生きていく上でとても大切なことだと思います。これからも、そういった支援を続けていきたいと思います。

発言者 理事　岩尾　貴

一人ひとりの人生を大切に考えること。現状を変え続けることを諦めないこと。

発言者 理事　島内　美月

社会的復権という言葉は、誰もが安心して暮らせる、自由に自分の居場所がつくれる。私にとって、そんな社会への旗印です。精神保健福祉士として、そんな社会を目指しています。

発言者 理事　関口　暁雄

小さな声、閉じられた声、声にならない声に耳を澄ませ、想像力を持って誰もが生きやすい社会を作ってまいります。

発言者 理事　徳山　勝

社会的復権を成し遂げるためには、多義にわる様々なソーシャルアクションが必要です。本 協会の活動を活用して、共生の社会を目指しましょう。

発言者 理事　長谷　諭

あきらめずに希望を持って、悩み続け、ソーシャルアクションを続けていきます。

発言者 理事　的場　律子

社会的復権という言葉を知らない人でも考えていただける機会が増えるよう、まずは身近な家族や友人と社会的復権について語る場を作っていきます。

発言者 理事　山本　綾子

社会的復権とは何かを考え続け、目の前のご本人の声に耳を傾け、向きあいつづけます。語りつづけて声に出す場をつくっていきます。

発言者 理事　行實　志都子

社会的復権とは、誰一人取り残されることなく、お互いの存在を認め合い、笑顔があふれた社会だと思います。精神保健福祉士として、自分のことだけでなく、仲間のことも大切にできる社会をみんなと一緒につくっていくことを目指します。

発言者 理事　渡邉　俊一

社会的復権を進めるために「対話」を大切にしたいと思っています。一人ひとりの様々な思いに耳を傾け、受け止め、その思いについて多くの人と語り合い、自分の思いも伝え、共有しあえる、そういった対話の機会づくりに積極的に取り組んでいきます。

発言者 理事　大橋　雅啓

こんにちは、理事の大橋です。私が考える社会的復権とは、普通のあたり前に、Simple is the　bestです。精神障害者と言っても普通の当たり前の市民として接していく、そしてサービスを提供していける社会、それをみんなでつくっていくことが精神保健福祉士の仕事だと思います。一緒に頑張りましょう。

発言者 理事　栄　セツコ

私の定義は私がする。病者でもなく、障害者でもなく、世界で一人しかいない私は私が定義 する。

発言者　理事　滝田　裕士

社会的復権という大きな課題も、日頃の思いや疑問や気づきを言葉にすることから今を変える大きな力につがっていくと思います。私も一緒に考えていきたいと思います。

発言者 理事　長谷川　千種

こんにちは。支援を受けながらでも、誰もが自分の生き方を自分で決められる世界を作っていきたい。精神保健福祉士は「こころと暮らしの伴走者」。これは田村会長と一緒に考えたフレーズです。どうぞ皆さん一緒にやっていきましょう。

発言者 会長　田村　綾子

社会的復権とは、「自由」を取り戻すことだと思います。精神疾患や障害があろうがなかろうが、当たり前に市民として誰もが暮らせる、そういう社会を作りたいと思います。精神保健福祉士として頑張ります！

最終スライド

みんなで社会的復権について考えていきましょう

おわり